

伊賀市役所庁舎整備に関する 住民自治協議会等アンケート 集計結果

1 調査目的

住民自治協議会等に対する、庁舎整備に関する意見等を把握するため、アンケートを実施し、庁舎整備計画策定のための基礎資料とする。

2 回収状況

送付件数 39件

回収件数 39件 (回収率 100.0%)

3 回答方法

特に指定がない限り、一つの質問に対し、回答は一つとする。

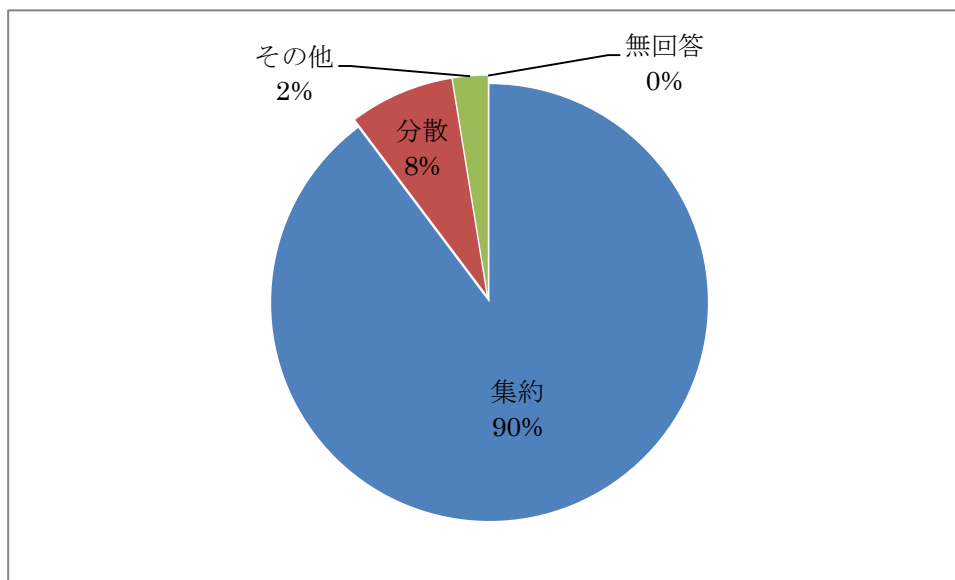
平成25(2013)年7月

企画財政部 管財課

質問1 現在、市役所の本庁機能は阿山支所、大山田支所及び上野ふれあいプ

ラザへ分散していますが、集約したほうが良いと思われませんか？ (n=39)

集約	分散	その他	無回答
35	3	1	0

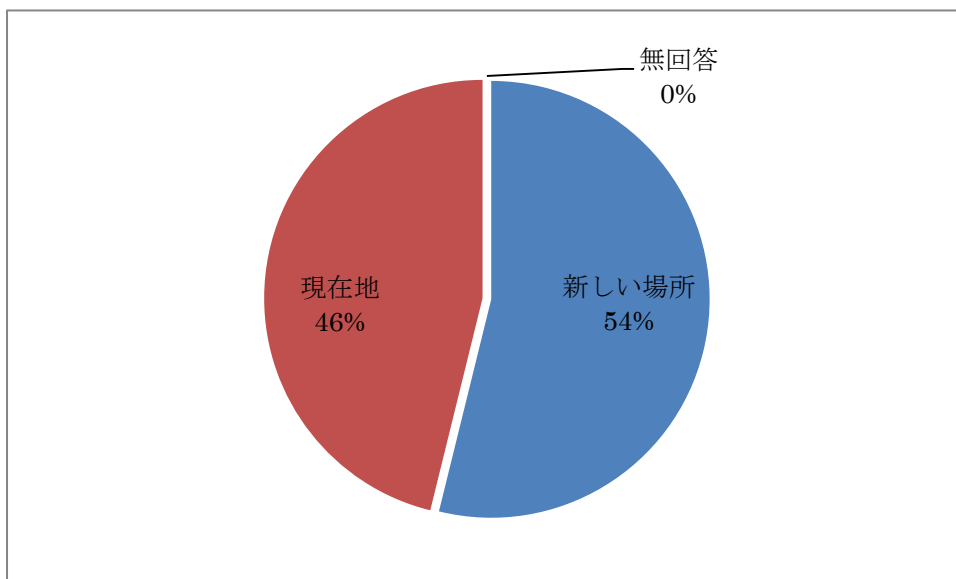


その他

- ・本庁の中核機能と議会は現庁舎を耐震補強して使用する。
- ・収容しきれない機能は、新築をせずに市街地の既存施設を活用し、本庁機能を市街地にまとめる。

質問2 市役所の本庁の場所は、どこが良いと思われませんか？ (n=39)

新しい場所	現在地	無回答
21	18	0

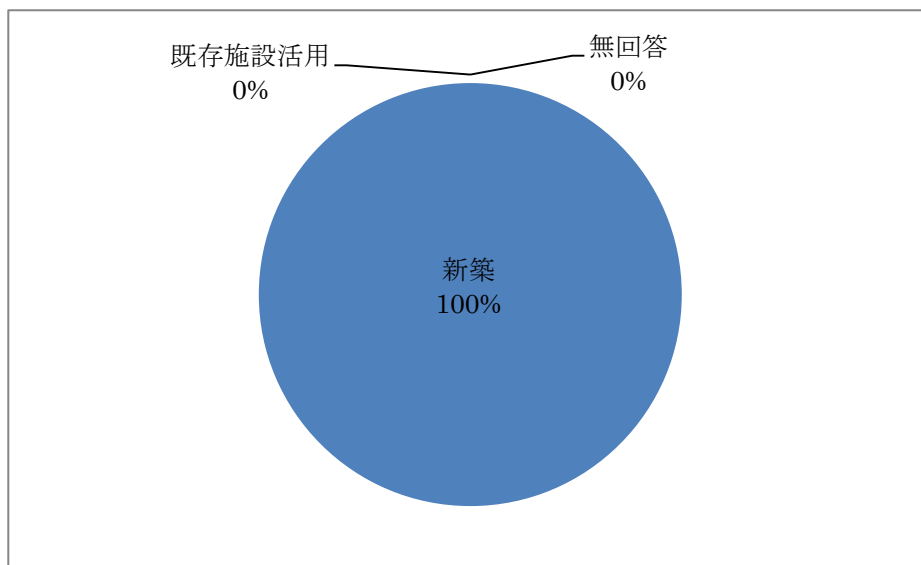


質問3 質問2で「新しい場所」を選択された方にお聞きします。

新しい場所に整備する場合どの方法が良いと思われますか？

(n = 21)

新築	既存施設活用	無回答
21	0	0



新築 <具体的な場所>

県庁舎の方面
将来の伊賀市・名張市の合併を視野に、伊賀市南部がよい。県庁舎隣接地がベスト。現在の場所は、信号、踏み切り、道路幅等、大変不便である。
ゆめが丘か四十九町付近。
消防本部に隣接する現職員駐車場。
ゆめが丘、県民局(四十九町)付近。
防災基地があるさくらクリーンセンター付近。
市役所前。
伊賀全体の発展のためには、城下町、町家の歴史財産を残す Old town と行政機能に集約した市全体の発展を見据えた公共交通の基点となる場所に新庁舎を建設した「メリハリ」をつけた都市計画(New town)が重要と考える。
県庁舎(四十九町)付近
ゆめが丘の様な広い所
ゆめが丘隣接地(旧森永エンジェルの森の計画地の一角)
ゆめぼりすが最適と考えます。
県庁舎の近辺が最適と思う。二番目はアビタ近辺が良い。現庁舎は場所は狭く駐車場もままならない面がある。又、交通量が多く、渋滞になり易く庁舎に入りにくい。現在の所を市街地に入るための駐車場や歴史資料館、美術作品等の資料館に活用すべき。ゆめが丘への庁舎建設は反対。場所そのものが孤立状態で交通アクセスも悪い。
市全体の中心が最適だが、交通アクセスや病院、公共施設、スーパー等の位置も考えて将来的な(人口増減)事も考慮に入れて決めるべし。
行政業務の非効率な分散を避け、旧学校敷地やゆめが丘等の広い敷地で、十分な駐車場も確保して新築する。

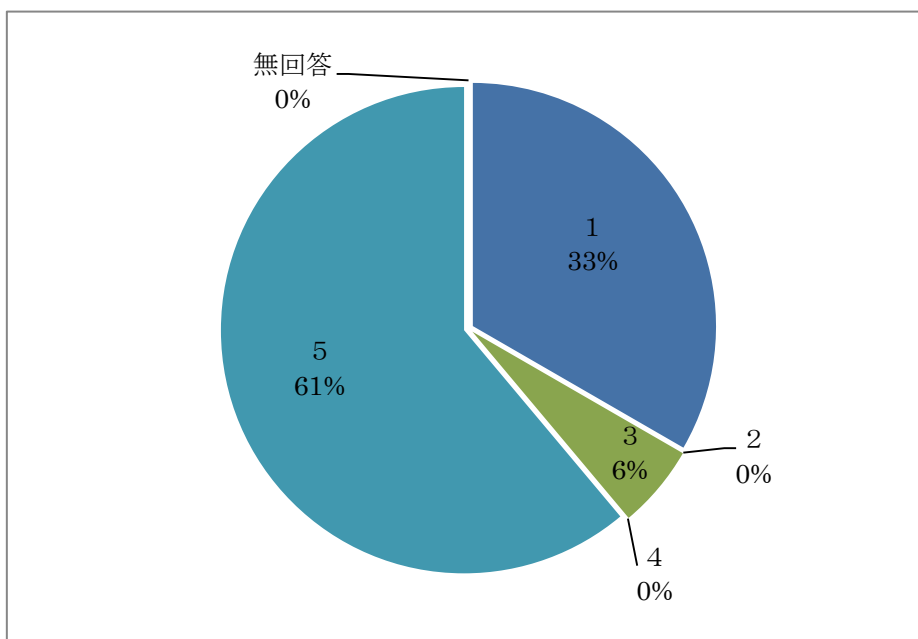
広さに十分な余裕をもった場所での新築を願っています。
ゆめぼりす
ゆめが丘
四十九町(県庁舎近辺)
ゆめが丘へ一括集中(二階建てまで)
四十九町の伊賀県民局の近くに土地を購入し、新築を望む。
ゆめが丘
伊賀県民局東側(ゆめが丘)付近に伊賀市の未来性を鑑み、敷地の高度利用を図り、市民の利便性の高い総合庁舎を建設する。
ゆめぼりす
四十九町の三重県庁舎、問屋町周辺が良い。なぜなら、県・市・警察・市民病院等官庁をぐるっとまわれるから。また、伊賀鉄道の桑町・猪田道間に伊賀上野官庁前駅を新しくつくり、民間活力も利用し、公共交通としての機能、活性化をはかる。
ゆめぼりすの近鉄の空き地
ゆめが丘周辺
伊賀鉄道に四十九の駅を設けて、市民病院近辺に。
県庁舎に隣接して駐車場を併用できるよう。
ゆめが丘地内
ゆめドームの西側(タウンセンター地区)

質問4 質問2で「現在地」を選択された方にお聞きします。

(n = 18)

現在地に庁舎を整備する場合、どの方法が良いと思われますか？

- 1 南庁舎を改修し、敷地内に不足部分を新築・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2 南庁舎を改修し、不足分は他の場所に新築・・・・・・・・・・・・・・・・ 0
- 3 南庁舎を改修し、不足分は他の場所にある既存施設を利用・・・・・・・・ 1
- 4 南庁舎を別の用途で使用しながら敷地内に新築し、不足分は他の場所にある既存施設を利用・・ 0
- 5 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 無回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0

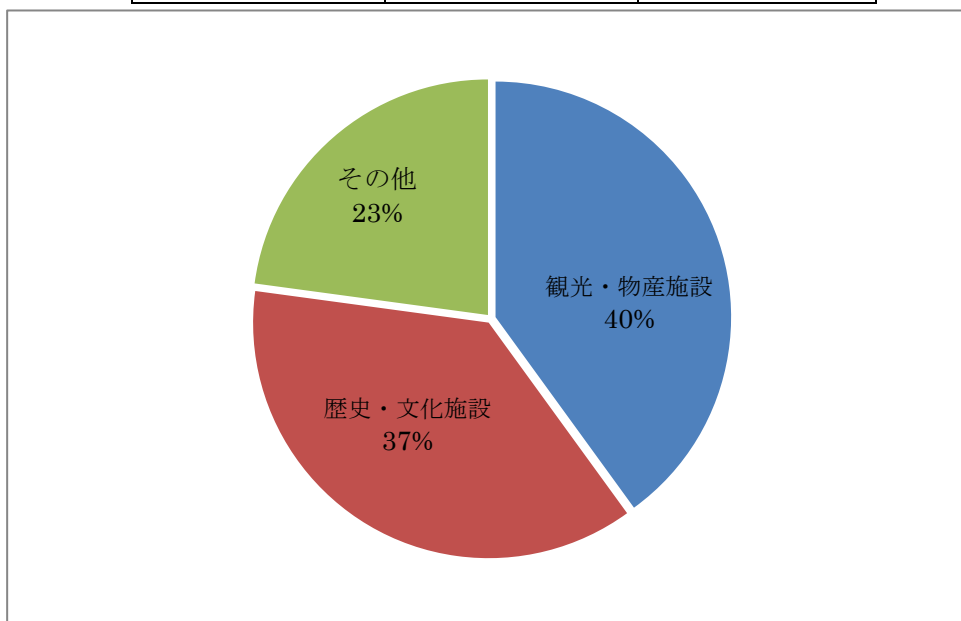


5 その他 <具体的に・・・>

南庁舎を取り壊し全面新築
南庁舎を取り壊し全面新築 耐震補強のみならず漏水対策や浸水対策が必要であり、改修費用がかさむ。
南庁舎を取り壊し全面新築
南庁舎を取り壊し全面新築
南庁舎を取り壊し全面新築
南庁舎を取り壊し、全面新築
南庁舎を取り壊して全面新築をする。
南庁舎を取り壊し全面新築するが、不足分は他の場所にある既存施設を利用する(新築規模は余り大きな箱物は必要ない)
南庁舎を取り壊し全面新築
南庁舎を取り壊して、全面新築がよい。
南庁舎を取り壊し全面新築

質問5 質問2で「新しい場所」または質問4で「4」を選択された方にお聞きします。南庁舎を別の用途で使用する場合、どの用途がふさわしいと思いますか。 【複数回答】 (n=21)

観光・物産施設	歴史・文化施設	その他
14	13	8



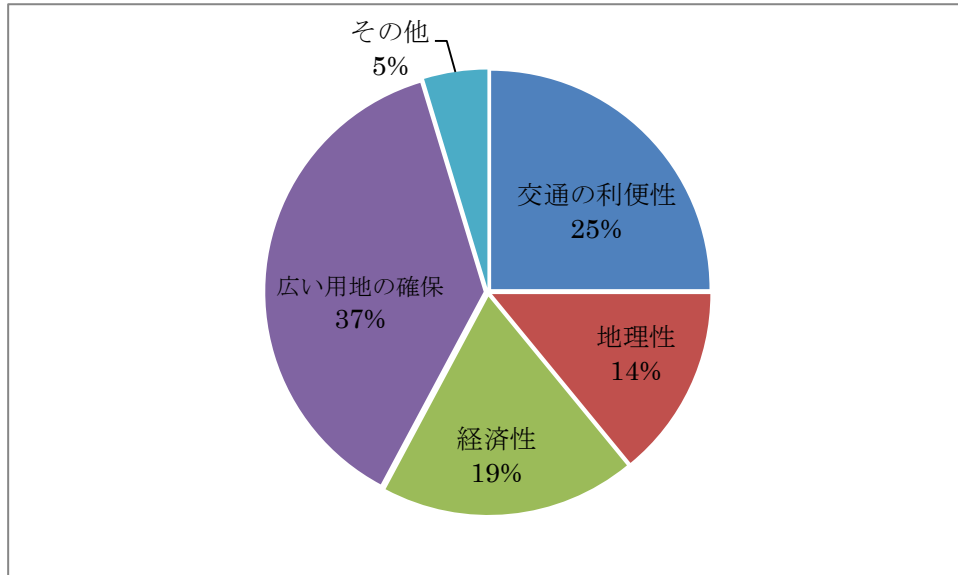
その他 <具体的に・・・>

多目的ホール。市の中心部に位置しており、市民活動拠点として多くの市民が自由に使用できるようにする。
駐車場
民間に売却し、新庁舎建設費に補填。
1、2に関係した施設。関係ある行政施設が入ってもよい。
多目的施設か図書館。
出来るだけ広い駐車場の確保が必要
市民が憩える場所
南庁舎は、耐震構造であれば歴史・文化施設として利用したり、旧上野市内の避難場所としても利用すればよいが、耐震補強に莫大な予算が必要となれば、今の施設は撤去して新たな利用を考える。
1、2施設として活用することを中心に考え、併せて駐車スペースを十分に設けること。

質問6 新庁舎の候補地を選ぶ場合、何を重要と考えますか。【2つまで回答】

(n = 39)

交通の利便性	地理性	経済性	広い用地の確保	その他
16	9	12	24	3



その他

どの地域からも行きやすいところ。
公共交通で来庁する人が少ないから、「1」など論外。北にかたよりすぎでは×。各部に分散もOK。
観光立市としての庁舎を考えるべきである。

〔ご意見・ご要望等〕

南庁舎は解体し、駐車場、文化施設、物産施設として活用する。アンケート集計において、自治協意見、一般意見は区別する。
南庁舎の耐震補強及び内装・各設備の更新等の費用を考えると、現庁舎を取り壊して、現在地に全面新築するほうが得策と考えます。
何事についても方針を二転、三転させると混乱を招くのみ。早く結論を出し、早期の着手をお願いします。 旧町村部のあらゆる潜在能力を活かすこと。対等合併の原則を踏襲すること。現存施設を活用し、経費の軽減を図ること等の理由で分庁舎方式が良いと思います。但し、業務に当たっていただいている市職員の皆さんの業務低下を招くことのない方法の分庁舎方式をご検討いただければと思います。例えば、A 部署関係を丸ごとa庁舎やB支所に移すことによって旧町村も過疎化を防ぎ、全域的な発展を図ることです。
庁舎への交通アクセスは、庁舎が決まってから考えること。庁舎が先でアクセス道などは後として考えること。(駐車スペースについて)平常時は駐車スペースとか、もっと余裕があれば憩いの緑スペースとして活用できるものとし、災害時には、一時避難所、救援の為のバックヤードなど、多目的に使える余裕のあるスペースとすべきです。市民2千人の個々の一票と自治協の一票の重さの比はいかがか？
庁舎建築も白紙に戻り検討中ですが、検討委員会も設置し前向きに取り組んでいただいております。現状北庁舎の解体もすでに終り、特例債の期限もあり、庁舎の老朽化による雨漏り、それぞれの機能が分散し利便性の問題等を含め早期に結論が必要ではないでしょうか。債務も膨らみ予算面も厳しいことは理解できますが、今決断すべきだと考えます。色々な代替案もあるようですが、市民の立場になり検討していただきたい。今後高齢化も加速してまいります、交通の便を優先していただき、現庁舎の敷地内に建築することが望ましいと考えます。
庁舎が分散しているため、大変不便で困っています。現在の場所は交通の便も良く、自動車に乗れない人にとっては最適な場所だと思います。また、市街地にとっても最適の場であると考えます。早急に新庁舎の建築に取り組んでいただきたい。今の状態を長く続ける事は市民に不便を強いる期間が長くなる事になります。
新庁舎建設について、50年に1度の合併庁舎 伊賀市民全体が利用する市民の為の庁舎であること。その為にも建設予定地は下記の条件が必要とされる。 1 伊賀市の概ね中心部に位置すること。 2 全課(全職員)が入ることが出来得る一極集中型 3 新庁舎は市民に対する司令塔である為、その付近に消防本部、防災センターを置くべきである。
住民サービスのため、市庁舎機能は1箇所に集めるのがベター、広い敷地を確保し地震時等の災害に耐え、即座に災害対応機能が発揮できる庁舎とすべきである。また、交通の利便性を考えるならば、現分散型庁舎を継続するのは最悪であり、1箇所に集中していれば、少し不便な場所でも連絡バスの運行等により対応できる。しかし、殆どの者は自家用車を利用すると思われるため、広い駐車場の確保が必須。
市役所はあくまでも住民が気楽に出入りする事が第一条件、交通の利便性、駐車場の広さ等、現在地では二次被害が多すぎる。市街地は観光施設を含め伊賀市住民にとって生活上、直接的影響と関係が少なくなってきた。伊賀市百年の計を見越して整備すべきと考えます。
今回の合併は、車社会の活動範囲としてされています。現庁舎の位置は、伊賀鉄道の踏切のため交通渋滞と周辺住民及び旧町村部住民の駐車場が不足し、利用者の問題となっています。そのため、三重県伊賀庁舎付近に新設のこと。旧上野市内の交通弱者へのシャトルバス運行及び6支所と本庁を結ぶシャトルバスの運行をする。そのために道路改修も行うこと。
これまで、市庁舎建設に向け意見を述べてきたが、市長が変われば白紙とし、これまでの市民の労苦を無駄としてほしくない。市役所の役割は何か。原点に戻って考えて欲しい。一番大切なのは、市民に対するサービスではないのか。有名な(?)設計者の建物を残すために市民に不便を強いるのはもったのほかであり、主客転倒である。市役所は、市の中心部にあって、車の使えない交通弱者のことを考えて建てるべきである。世間は、超高齢者社会へ向かっている。これから益々徒歩や自転車です役所へ通う市民が多くなる。そんなことも考えられない職員や市長をはじめ市幹部は失格である。広々とした静かな庁舎で市民の来ない役所でのんびりと仕事をしたいと思えない。一市民としてそんなことは許せない。街中の賑わいを取り戻すためにも現在地に新庁舎を新築し、機能を集中して一度の来庁で用件が済むよう工夫して欲しい。(ワンストップサービス)一部の市民の我田引水に惑わされず、市内の発展と伊賀市の将来を見据えて遺恨が残らないように真剣に考えて建てて欲しい。方法はいくらでもあるはずで、南庁舎の一部を残して増築(新築)もひとつの方法である。(日本銀行のような)南庁舎を観光、物産、歴史、文化施設として残すのは反対である。南庁舎の耐震工事を含め全面改修は費用の無駄である。博物館を兼ねてとの話を聞くが、果たして何人の来館者があるか大いに疑問である。適切に活

<p>用できなければ不要な箱ものとして負担になるだけである。</p>
<p>県庁舎のような公共の建物は近い方がよい。県庁舎が先に建ててしまいましたが、四十九辺りもどうかと思う。機能の分散が良いとは言えない。首都機能を畿央にとのキャッチフレーズがあるがそれとは違う。合併の結果建物があるからやむなく分散したのではないのでしょうか。本来は一つにすべきだと思います。</p>
<p>現在の場所の地盤は地震等にも強い岩盤地であると聞いているが・・・(上野城等もそのような理由で先人達は現在の場所に築城したと伝え聞いている)従って、防災、耐震面からも現在地は適正であると考え。</p>
<p>現在の庁舎は、案件によって遠い庁舎に行かなければならず、相当不便な上、案内や標示が不適切でわかりにくい。早急に結論を出して不便を解消してほしいことと、どの案件がどこで担当しているのか、もっと案内や標示をわかりやすくするとともに、職員の意識改革も必要と思う。</p>
<p>現在地での市庁舎全面改築の要望書のとおり、市庁舎は伊賀市の核であるべきものであるから、早急に現在地での新築を実現されたい。</p>
<p>旧町村の庁舎に各部が分散していても問題はない。TV会議もできるから。現在のように阿山に一方的に仮移転しているのは論外。青山の現地に9時30分にしか来ないのは南部軽視で許し難い。建設・農村などは阿山、大山田、青山、伊賀に分散すべし。議会もたまには旧支所で開催すれば!?</p>
<p>旧上野市街の硬直した都市計画から脱皮するには思い切って郊外に移転すべき。同時に生活に身近な行政事務は市民センターへ移し、市内は下水道整備や都市景観整備など立遅れたインフラを限られた予算内で効果的に進め、快適都市空間にすべき。ただし、全てをリニューアルにすべきと言うのではなく、"伊賀らしさ"をどのように再構築するかを考えること。旧町村部は、地域の自立を促すための施策をどんどん積極的に進めること。</p>
<p>合併して9年目になろうとしている。現在の庁舎もかなり老朽化していて、新市としてもふさわしくない。建て替えるなり改修するなりして、新市のシンボルとしての物が欲しい。建てるとするならば、合併当初に言われていた「大きな支所、小さな本庁」の歌い文句を思い出して頂きたい。そして当初言われていた意図を十分反映できるものにして欲しい。「大きな支所」とは建物の問題ではなく機能の問題であろうと思う。「小さな本庁」とは小さな建物とはいかないだろうが、最小限の必要な機能を生かせる範囲の建物であって、馬鹿でかい贅沢なものでないと言う意味だろうが・・・。中間に提案された庁舎は大変立派な物であったようである。くれぐれも「大きな支所、小さな本庁」の意味を住民に説明できる庁舎建築になるよう要望しておきます。</p>
<p>今までの特別委員会は何だったのだろうか？</p> <p>住民サービスを考慮し、誰もが行き易い庁舎であること。特に車イスでも昇降できるよう配慮が必要です。</p> <p>危機管理の体制・対処が速やかに実施できる場所・庁舎構造であること。</p> <p>庁舎としての住居性、利便性を考えること。</p> <p>職員が働き易く、業務への士気があがる構造にして、住民へのサービスに繋げること。</p>
<p>今の場所から離れると旧「うえのまち」がすたれる一方となる。</p>
<p>今の状況で判断してはいけない。50年後、100年後のことも考えて決めてほしい。やるのは一度、思い切った判断が必要。</p>
<p>一部の参加者や企業の思惑ではなく、市の周辺部に住んでいる市民にとっても生活しやすい、市外の人にも自慢出来る長期的な視野に立って新庁舎を中心とする都市計画を作ってほしい。又、機能は分散しているより集中している方が住民にとっては良い。</p>
<p>伊賀市の風土にマッチした建物が望ましい。</p>
<p>伊賀市と名張市が合併した時に対応可能となるよう計画すること。支所は窓口業務とし縮小せざるをえない。従って支所の有効な活用も検討すること。民間利用も含めて検討。新しい場所に本庁舎を整備した場合は、交通手段を検討する必要がある。</p>
<p>伊賀市としてまず中間にあることが望ましい。</p>
<p>【A3用紙2枚の資料添付】</p> <p>伊賀市(伊賀盆地)のド真ん中(ゆめドーム周辺)に合併庁舎を建てれば、立地条件・インフラが良く、総建設費もうんと安くつく。</p> <p>2年以内に「庁舎と消防本部」の起工式を。</p> <p>問題は、「合併伊賀市庁舎を、何処へ、何時、建てるか?」に尽きる。</p>
<p>【H23.6.17 付、3自治協連名の要望書(写)添付】</p> <p>一刻も早く「現在地での全面新築」により市庁舎建設事業を進め、防災機能やユニバーサルデザインの充実により、私たち市民に安全と安心を提供できる新庁舎の実現に格別のご尽力を賜りますようここに要望します。</p>

①健康な方ばかりが行くとは限らないので、人に優しく気遣いのできる庁舎がいいと思います。

②公用交通機関との関係

伊賀の交通機関は非常に脆弱であり、地域住民にとって便利なものといえない現状から車利用は欠かせない。

車社会への対応として、新庁舎には駐車スペースに余裕をもったものとされたい。ただし、高齢化社会真っ只中の対応として、シャトルバス等の運行も考慮が必要。

市の環境整備と公共性の維持

伊賀市の目玉(多分)として、旧上野市街区の整備が進められている。市、地域の発展を目指すため、観光客等の呼び込みも不可欠であろうと思うが、合併された各地域の道路、環境整備も間断なく公平感を持って積極的に推し進めてもらいたい。

③何事もスピード。古い行政体質からの脱却。できるだけ本庁はコンパクトに支所を強化し、頼れる行政職員になっていただきたい。

④高齢者社会を考えると、新庁舎の新設、各支所、プラザ等、人の集まりやすい場所に分散するのがよいか。財政面、公務員数の増加を考えると、可能な限り経費節約に努め、負債は最小限にしていくのが望ましいと思う。

⑤新庁舎に機能統合してください。機能が分散していると、関係部署間も調整にムダな時間が必要。この時間を市民の要望対応にあたってください。

⑥本庁舎へ行く用事は少ない。上野以外(市街地以外)の人は支所で用が済むようにすれば機能の集中はあまり必要ではないのか。新庁舎も必要なら考えるが、政府が歳出削減に本腰を入れて開始されるとき、市の歳出削減の予測はいかがな状況？新庁舎は市民の純負担を20億円増やすが問題ないのか？

⑦庁舎は住民サービス拠点が重要ですが、そこで働く職員の職場として快適な環境も重要です。働きやすい効率的な職場としての観点も欠かせません。インターネットが発達し、会議や打合せの場所としての重要性は減っています。支所の建物や公共施設(立派なホール)等を活用し、本庁舎には大きな建物は必要なく住民サービス機能を持たせた複合施設の観点が必要です。

⑧一部の地域に偏るのではなく、伊賀や全体を面としてとらえるように考えていただきたいと考えます。

⑨この際、南・北両庁舎との移設。

⑩日頃あまり利用することがない私共にとっては、どこに行けば用件が済まされるのか、分散しているといちいち問い合わせをしなくてはなりません。本庁に行けば全て済むようになっている方が有り難いと思うのですが。

⑪庁舎は市民が利用容易であることが重要であり、デザインよりも機能重視したものであるべきであり(名張市庁舎のようなもの)、また本庁機能は一箇所に集中させることでなければならない。

⑫上野城は動かさずか？伊賀の象徴の一つの場所近くにあることが最もベターと思います。建て直し？どのくらい業務の見直し、合理化を進めましたか？それは市民の皆さん、また皆さんから理解できる内容でしたか？今、アベノミクスは途上というより暗中模索の中にあります。成功云々の見極めが見えてから新庁舎の建設如何を市民に問う。市庁舎は市民の要望があっても最後の最後に取り掛かるものです。行政の全ては市民の税金で成り立っていることをお忘れなく。

1 本庁の中核機能(議会含む。)は現南庁舎を耐震改修をして活用する。

①一部分を観光機能を活かせるように配慮すること。

②旧北庁舎跡地は、建物を建てずに観光に活かせるよう「駐車スペース」としての空間を確保する。

2 南庁舎に入りきれない「本庁機能」は、新築をせずに上野市街地にまとめるべく「既存施設」を有効に活用すべきだと考える。

①現在使用している「上野ふれあいプラザ」、「ハイトピア」又は「県庁舎」の有効活用など。

②ジャスコ(桑町)の新規店舗建設(JA伊賀北部付近)予定があるとか聞き及びますが、移転後は、市庁舎に改修すれば駐車場完備で一か所に本庁機能をまとめる事ができます。

③旧成和中学校を改修して使用する。(駐車場スペースは十分あり、公共バスの運行を検討すれば良い。)

3 本庁機能は市街地に取りまとめ、各支所は地域の拠点としての機能を持たせ業務を精査すべきと考える。

4 公共交通の便、駐車場の確保は十分に考慮すること。

5 検討委員会に5つの候補地を示しているが、

①北庁舎跡地に建物を建てるよりも、観光に活かせるよう「駐車場機能」を優先すべき。

②土地開発公社保有地(平野城北町)は好ましくない。

③旧桃青中学跡地も好ましくない。

6 改修、改装、借入、交換を含めて 30 億程度の規模で考えるべきです。

以上、2025 年を見据えて、人口減少社会のなかで「市役所」のあるべき姿を念頭に、ご検討いただくよう望みます。

1 現在地での全面新築が圧倒的多数意見。

2 小数意見

①南庁舎を改修し、観光施設等に利用し、庁舎は移転すべき。

②旧三重県立上野商業高校跡地を改修利用。

③伊賀県民センターの払い下げ後、改修利用。

④平野地区へ新築移転。

⑤長年新庁舎建設にあたって協議を重ね決定されてきたことが、市長が代わったことで白紙になることに強い憤りを感じる。

⑥本庁機能が分散していることに反対である。高齢者や障がい者などが一度に用件を済まされない。

・結論ありきの「庁舎整備計画検討委員会」にならないよう望みます。

・本庁機能の集約化(災害時に備え)

・ゆとりある駐車場スペース

・市長選の公約では、庁舎を新築しないということで支持をしたつもりです。現在の庁舎を改修し、不足分は既存の施設を利用するのが経済的にも最適と考えます。

・現在、元シルバーオックスの場所にイオンができるとうわさを聞いている。民間とのコラボにより市民病院、イオン、警察、市庁舎、県庁舎のラインをつくり(道路網の整備等も含め)、現伊賀鉄道桑町-猪田道間に新駅を<市役所前駅><伊賀官庁前駅>とし、公共交通機関での活性化をはかる。新しい駅よりシャトルバスを走らせる。市役所等の職員は、伊賀鉄道で通勤させる。時間がかかっても。。

・今後人口減少が予想されるので、できる限り建物などコンパクトにして費用を最小限に抑え、起債金額を少なくする努力をしてほしい。3回目の赤字債権団体にならないように。。

・市民の意見を十分に聞きながら決めていくこと。

・庁舎建設ありきでないこと。

・大きな赤字をつかってまでムリに建設する必要はない。

・行財政改革を進めることを第一に考え、

①大きな財政支出が伴う支所を思い切って廃止する。

②住民サービスを低下させない最低限必要な業務を各市民センターで行うよう見直す。

③本庁機能を再編し、将来の人口減少を見越したうえ、多様化する行政ニーズと変化にも対応可能で機能的、効率的に業務できるよう強化する。

④経済性を重視したコンパクトな規模の新庁舎建設を目指すよう望みます。

・伊賀鉄道活性化のため、ぜひとも沿線をお願いします。なおかつ、車の便・駐車場も併せて考慮のこと。

・新庁舎の建設に係る基本設計に要した経費の取り扱いは？

・本庁の機能は分散してるが、近く新庁舎が建設されるとの思いから、不便であるものの一定の理解はしている。

・白紙に戻るとなれば、今日まで住民が期待してきたことに反するのではないか。

・市長は、不便をかけていることは前政権のことであり、自分は関知しないと公の場で発言している。

・行政は継続してこそ発展するものではなからうか。

・各自治協会長宛にアンケート調査の依頼があるが、自治協の会長は個人としての考えを書けない。無作為に抽出した一般市民も自治協の会員である。抽出された会員は誰か把握できないので、どのような回答をしたのか把握できない。

・アンケートの内容を確認すれば、南庁舎の改修が主で、他の選択肢はその他の欄に記載となっている。本来であれば、他の項目も入れるべきであると考え。

・アンケート調査を実施したという実績づくりにしか思えない。

・現在地(丸之内)へ早期の建設を望むところである。

・子供や孫の時代に多額の借金を残さないようにしてほしい。

・不要な税金は出したくないです。

・今、市の負債は 1,120 億円に累積し、財政の硬直化が懸念されます。市庁舎の新築は更に借金を増やすことになります。市の施設には合併間際に建設されたハコ物が多くあります。

このハコ物を有効利用すること。本所と支所の在り方をしっかりと定めること。災害時の拠点機能や交通の便などを考慮することが必要です。

・分散して、以前の旧行政の庁舎を利用して、不平等にならないようにローテーションする。市長・防災本部等は現庁舎に存在させる。当然のことながら、上記庁舎は十分な耐震構造にすること。

・もっとまじめに早く行動すること。

・同じことばかりくり返し議論していないで住民投票をすればよい。